

恵那の農業・農村を支える人材育成

■夏秋トマト 農福連携によるトマト業務委託契約締結式

岐阜県は、農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）において、令和12年までに農福連携等に取り組む主体数を12,000以上とし、「地域・未来・絆」を広げるために各種施策を展開している。

農業普及課は、夏秋トマト生産者2名（中津川市）と有限会社介護サービスめぐみ（恵那市）3者による業務委託契約締結式を6月25日に執り行った。

前年夏以降、福祉事業に対し現地検討会・使用器具の検討を繰り返して行い、利用者が活躍できる場の提案を行ってきた。今年度は、トマトの古い葉の摘葉と収穫終了後の片づけの詳細を記した作業手順書を示しながら、双方が納得できる業務委託契約を練り上げてきた。

締結式後、和やかな雰囲気の中、双方からは「単発で終わることなく、継続して実施したい」「楽しくやりがいを持ってもらうことで、他の利用者もやってみたいと思えるよう誘導したい」と感想を述べられた。

業務委託契約に基づき、7月23日から作業がスタートする。当課は、3者に寄り添いながら引き続き支援していくとともに、地域への広がり推進していく。



【締結を終えて】

（園芸産地支援第一係）